

## 平成 23 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2 月募集】入学試験問題

講 座	言語情報論
専門科目 2	日本語試験

問題 1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

問 1 下線部 (1) ~ (4) のカタカナを漢字に直しなさい。

問 2 空欄 A に入る適切な語句を書きなさい。

問 3 「サピア・ウォーフの仮説」とはどのようなものか、本文中の具体例を用いながら説明しなさい。

問 4 言語と文化の関係について、本文中の説明を踏まえながら述べなさい。

注 1 「次の文章」とは、宮岡伯人編『言語人類学を学ぶ人のために』（世界思想社、1996 年）の p.176~177 である。

問題 2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

問 1 下線部「許容されない」は、この文脈ではどのような意味か、説明しなさい。

問 2 空欄のア、イに入る数字を答えなさい。

問 3 空欄の 1 ~ 4 に入る表現を次の中から選んで答えなさい。  
このことは すなわち そこで このように

問 4 A、B に入る例文を答えなさい。

注2 「次の文章」とは、益岡隆志『日本語文法の諸相』（くろしお出版、2000年）のp.11～12である。

問題3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

問1 下線部の漢字を読みなさい。

- 1.過ち            2.円滑            3.著しい            4.含意

問2 下線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- a.ケイコウ    b.コウチク    c.カザムキ    d.ソナエ

問3 波線部(1)「今日」と異なった読み方をする「今日」を、下のア～エから一つだけ選びなさい。

ア. 日本語以外の外国語を話すことができるのは、今日では当たり前のことである。

イ. Aという学者の発言の内容を、B国と日本との関係の捉えることが今日の山田教授の授業の一番重要な点である。

ウ. 今日の若者は、他との関係を絶ち、孤独を好むと言われている。

エ. 彼の作品は、彼の没後100年経った今日でも、多くの人に愛されている。

問4 波線部(2)の「現在の強調」と「状況に対する適応能力」とは、それぞれどのようなことを言っているか。本文から抜き出して答えなさい。

問5 波線部(3)のカッコ内に入ることばを入れなさい。

問6 波線部(4)「しかし長期計画の失敗と長期計画の不在とはちがう」について、この2つはどのようにちがうと言っているのか。日本文化はどちらであると言っているのかを、明らかにした上で説明しなさい。

注3 「次の文章」とは、加藤周一『日本文化における時間と空間』（岩波書店、2007年のp.1～2）である。

以上